



「京銀ネクストファンド2号」第4号案件への投資について ～日本サイン株式会社経営陣によるMBOをサポート～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役 山本 洋史）が出資・運営する「京銀ネクストファンド2号」は、日本サイン株式会社（大阪市、代表取締役 土屋 継）のマネジメント・バイアウト（以下、MBO）※を目的として同社役員が設立したNSHD株式会社（代表取締役 土屋 継）に対して出資を行いましたのでお知らせいたします。本案件は「京銀ネクストファンド2号」における第4号案件となります。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後もお客さまのさまざまなニーズにお応えできるようサポート体制を充実させ、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

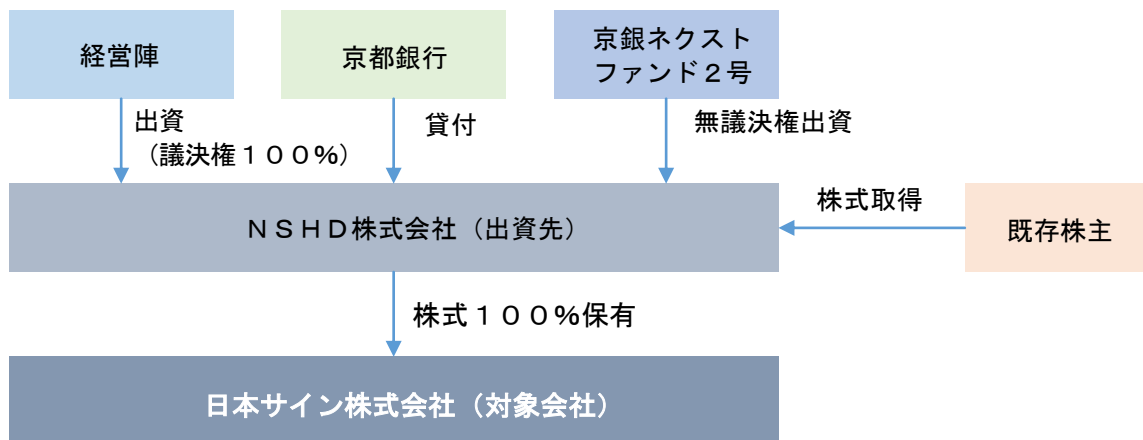
※マネジメント・バイアウト（MBO）… M&A手法の一つで、会社の経営陣が金融支援を受け、自ら自社の株式等を買取り、経営権を取得すること

記

1. 本件概要

京都銀行と京都キャピタルパートナーズ株式会社が2024年3月に設立した「京銀Next Stage 2024ファンド投資事業有限責任組合（略称：京銀ネクストファンド2号）」が、日本サイン株式会社の株式取得を行う買収目的会社である「NSHD株式会社」に対して出資を行いました。

<スキーム図>



2. 本件経緯

日本サイン株式会社は、「空間の創造と、環境調和で社会に貢献する。」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現を前提にサイン事業およびメディア事業等を行っています。

同社は、意思決定の迅速化を図りさらなる成長を遂げるためには、自社の技術・事業的価値・企業文化を深く理解する現経営陣によるMBOが最善の策と捉え、今般既存株主との合意に至ったことを踏まえ、京銀ネクストファンド2号がその取り組み意義や経緯を評価し、本出資を決定いたしました。

当行では、取引先の事業継続や雇用維持、事業発展に際して、円滑な事業承継の支援を積極的に行っています。近年では、多様化する取引先の課題に、さまざまな解決策をもってお応えしております。

3. 京銀ネクストファンド2号の概要

名 称	京銀 N e x t S t a g e 2 0 2 4 ファンド投資事業有限責任組合 (略称：京銀ネクストファンド2号)
目 的	・円滑な事業承継の支援による、取引先の事業継続や雇用維持、事業発展 ・投資後の経営支援による、取引先の企業価値の向上 ・上記過程における、経営者や経営幹部、専門的な知識を有する人材等の紹介や雇用支援
投資対象	当行取引先のうち、後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	1 0 0 億円
設 立	2 0 2 4 年 3 月 1 9 日
存続期間	1 0 年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

